



憲法の案を
まもりました

日本共産党北区議会議員

さがらとしこ

区政レポート

2013.8.8. No.1055

ご相談はお気軽に

TEL とも 3905-0970

FAX さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団

区役所内 3908-7144

<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

許せん! 消費税増税とあわせ 社会保障の改悪ズラリなんて

◎ 自公政権の横暴に、国民は怒っている。声を上げよう。

国民会議の社会保障改悪プラン

| | |
|----|--|
| 保育 | <ul style="list-style-type: none"> 公的責任を投げ捨てる「新システム」推進 規制緩和による質の引き下げ |
| 医療 | <ul style="list-style-type: none"> 70~74歳の窓口負担倍増 (1割→2割) 入院時の給食の患者負担引き上げ 紹介状がない大病院の受診に定額負担導入 保険料アップにつながる、国民健康保険の都道府県運営への移行 |
| 介護 | <ul style="list-style-type: none"> 要支援1と2を保険給付から除外 一定以上の所得者の負担引き上げ 施設の居住費・食費を軽減する補給給付の対象縮小 特養ホームから「軽度者」しめだし デイサービスを削減 |
| 年金 | <ul style="list-style-type: none"> 支給額を減らすマクロ経済スライドの毎年実施 支給開始年齢の引き上げの検討 「高所得者」への支給額を削減。課税を強化 |

政府の社会保障制度改革国民会議は5日、医療、介護、年金、保育の全分野で改悪を求める最終報告書をつとめまとめた(表)。甘利明・社会保障・税一体改革担当相は「法制上の措置の策定作業に入り、8月21日までにまとめた」と改悪の具体化に強い意欲を示しました。

8/24(土)赤羽西口は
4時~増税中止を求める
新しい...署名活動



残暑とは
さよなら
空塚

「まちづくり・住民の会」総会の日程が
8月31日(土)午前10時~になりました。

住民の会は「会場の都合により日程を変更」と発表しました。
連絡先 (3909) 9503 やのばら千恵子

ボタンを押せば、つながって命ぞろい

◎ 部屋の中でも熱中症になります。水分補給や食事も大切です。北区でおこなっているこの制度を積極的に活用して、命を守りましょう。

高齢者見守り・緊急通報システム お問合せ、ご相談 (3905) 0970~

◎ 協力員に代わる駆けつけ体制

警備会社と連携しているため、協力員を確保できない場合でもご利用いただけます!

◎ 365日24時間の健康・生活相談

健康・医療・介護・メンタル面など幅広いご相談に、受信センターの看護師等専門スタッフがきめ細かく対応します!

◎ 月1回のお伺い電話

センターから月1回お電話をします。健康状態の確認からシステムについてご説明を行います!

◎ 医療機関のご案内

病院のご案内・診療科のご案内を行います!

※緊急時の駆けつけのため警備会社に自宅の鍵を預けることが必要になります。



↑ 本体



↑ ペンダント部分



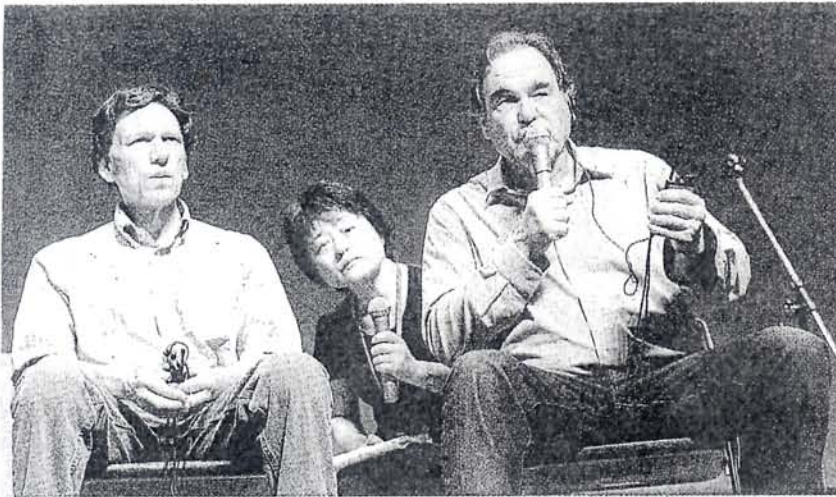
消防署
必要に応じて出動要請

受信センター

協力員・駆けつけ員
必要に応じて確認依頼

~なお、もよりの高齢者あんしんセンターで受け付けにします。~

◎この夏、妹尾河童原作による映画「少年H」が話題で、私もぜひみたいと思っ(8/10~)上
映画はとても大きな影響力をもっていますが、8/7付の記事に注目しました。ご紹介し



オリバー・ストーンさん(右)とピーター・カズニックさん(左) = 6日、広島市中区

原水爆禁止世界大会・広島

ストーン監督、被爆者と語る

「米国という帝国に、みんなが立ち上がる力になるプロジェクトを進めている」「戦争を起こさせないために強くなり、たたかおう」。米映画監督のオリバー・ストーン氏は6日、原水爆禁止世界大会・ヒロシマデー集会で、アメリカン大学のピーター・カズニック教授とともに訴え、会場内から共感と連帯の拍手がわきあがりました。

戦争させないたたかいを

カズニック氏はストーン氏と脚本を共同執筆したドキュメンタリー「もうひとつのアメリカ史」について、米国の戦後の軍事外交政策を正当化する「ウソ」を暴いたと紹介。そのなかで広島・長崎への原爆投下がなくても日本の降伏は明白で、米国はソ連への「警告」だったと説明しました。

ストーン氏は「戦後」ドイツは反省と謝罪の下で平和を守る国に変わったが、日本は米国の従属国のままで、経済大国としても道徳的な大國になっていない」と指摘。オバマ米政権の「アジア回帰」は「中国封じ込め」であり、日本に新兵器を売りつけ、軍事費を負担させ、「邪悪なドラゴン」は中国ではなく米国だ」と批判しました。被爆者と青年の代表が両氏に質問。16歳のときに被爆し、その後も苦しみ、3度も自ら命を絶とうとした広島県被団協の吉岡幸雄副理事長は、両氏が被爆者と会って、どう感じたかをたずねました。



オリバー・ストーンさん、ピーター・カズニックさんと語り合う行われる「核兵器のない世界へのメッセージinヒロシマ」に聞き入る参加者。6日、広島市中区

被爆者の語りをビデオ撮影で記録する岡山県の青年平和サークル、「岡山PPPO」の谷口朋美さんは「ヒロシマ」を訪れた意義について聞きました。

ストーン氏は「米国が世界に広げてきた一番大きな『ウソ』の中心点だからだ。米国は原爆投下によって世界を支配する権力を手にした。米国の子どもたちに米国の本当の姿を知ってもらいたい」と語りました。

広島市内で4歳の時に、原爆が投下された直後に降った放射性物質を含む「黒い雨」にうたれた高東征二さん(72)は「日本政府は、残留放射能はない」と、米国の言いなりになって原爆の被害を小さく見せようとする。僕らも僕らの立場で、できる限りのことを力いっぱい訴えていかなきゃいけないと思う。勇気をもらった」と声を弾ませます。

5人の被爆者と懇談したというストーン氏は「大きな苦しみを受け、しかしその記憶を伝える責務を持ち、愛にあふれ、世界を本当に良くしたいという理想にあふれた大事な方々だ」と語りました。米国の学生を連れて何度も広島を訪れているカズニック氏は「道徳的な象徴と結晶だ。怒りや恨みを高く昇華させて、核兵器を二度と使ってはいけないと、良心のともしびを掲げて人類全体を導いている人たちが」と力を込めました。

米国の本当の姿伝えたい

気になる、自衛隊のメディア露出

◎8/7(水)朝のNHK「おはよう日本」での、海上自衛隊のとりあげ方に、疑問をもちました。これは、公共放送をつかっての隊長募集広告そのものではないかと、気になります。

◎2007年1月、防衛省は「部外制作映画に対する協力実施基準」という通知を出して——そこには、①防衛省の紹介となる ②防衛思想の普及高揚となる一の基本条件を満たせば、無償で人とモノを提供することになっているとのこと。